

# 競 技 要 項

## 1. 試合方法・試合時間

- ・ 6チームのトーナメント方式で行なう。
- ☆試合時間は、全試合正味15分×3P、練習・休憩5分
- ・ 1試合につき、両チームそれぞれ1回のタイムアウトを取ることができる（タイムアウト：30秒間）
- ・ パクツスにてホーム決定（トーナメント表左側チームが仮ホーム）

## 2. 競技規則—東京都アイスホッケー連盟の定める補助規則（第4項）を除いて、原則として国際競技規則による。

- 1) ペナルティは正規とする。
- 2) ボディチェックは禁止。
- 3) ヘルメットは前面を覆うフルフェイスマスクを必ず着用する事。
- 4) ネックガードを必ず着用する事。
- 5) 原則として頭髪はヘルメットの中に収める事。
- 6) 第3ピリオドが終了した時点で同点の場合、直ちに3名によるゲームウィニングショット（GWS）により勝敗を決定する。それでも決定しない場合には、サドンビクトリー方式によるGWSが適用される。

## 3. 補助規則

- 3-1) 棄権 試合を棄権するチームは、試合開始日の前日17時までにその理由を連盟迄文書に届ける事。（土・日の場合は競技役員まで。）その場合0：15不戦敗となる。ただし、別に定める罰金は支払う事。
- 3-2) 連盟未登録選手が出場した場合、その試合に限り没収試合とし不戦敗とする。
- 3-3) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。（発覚次第退場とする）当該選手がポイント（ゴール・アシスト）をあげても無効となる。当該選手がペナルティをおかした場合は代替選手がそのペナルティを受けるものとし、当該選手は退場とする。（背番号だけの間違いは発見次第直ちに修正する事。ポイントは認められ出場可能。）
- 3-4) 試合の実施は試合開始時までにはゴールキーパー1名とプレーヤー7名をミニマムとし、それ以下の選手数のチームは棄権したとみなし不戦敗とする。尚、棄権する場合は対戦相手の試合費等を負担する。  
また、両チームが人数不足の場合は、両チームとも-15点とし、両チーム不戦敗とする。
- 3-5) レフェリー団よりレフェリー（1名）・ラインズマン（2名）の派遣をする。
- 3-6) 当番チームはゴールジャッジ2名・ペナルティーアテンダント2名・タイマー1名・記録1名・アナウンサー1名（計7名）が開始30分前に集合し、当番試合のオフィシャルを務める。  
当番の肩代わりはトラブルの原因となりやすいので極力避ける事。やむを得ず肩代わりする場合は、試合開始日の前日の17時までにその理由を連盟まで文書にて届けること。尚、当番欠席により試合が行えなかった場合は別に定める罰金を支払う事。
- 3-7) 試合の際には、監督・コーチ等の内1名は必ずベンチ入りすること。
- 3-8) ユニフォーム・ストッキングを統一すること。

罰則) 当番に遅刻・欠席及び試合を棄権・未登録選手の出場及び連盟規約違反をした場合、罰金より無期限試合出場停止迄の罰則を課す。